

専門教育科目 講義科目

科目名:	健康・医療心理学		科目コード	EB77		
科目主査:	田中 美歩	担当講師:	井島 由佳、田中 美歩	単位	4	
				配当年次	3・4	
授業の目的と概要			グループワーク:	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク:	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
近年、文明の高度化や人間関係の複雑化などに伴い、心身症や精神疾患の発症率は増加傾向にあります。医療従事者や周囲による気づきや早期に対処することは大切です。本科目では、患者の心理や行動について考え多角的な視点を持てるようにすることを目的とし、必要な健康・医療心理学に関する基礎的な考え方について学びます。						
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:				
履修の前提となる知識 その他特記事項	心理学に関する科目や書籍等を通して基礎知識を学んでおくことが望ましいです。また、事前にテキストを熟読していることを前提として授業を進めます。よく理解できていないところがあったらマーキングしておきましょう。					
テキスト	『健康・医療心理学』宮脇 稔 他, 医歯薬出版, 最新版					
この科目の到達目標	①個人の心理や行動に関する基本的概念を理解し、その理論を用いて健康・医療にかかわる現場における問題を適切に説明することができる。 ②個人に生じ得る課題や健康について、心理と行動に関する枠組みで考察でき、解決の方向性を見出すことができる。					
成績評価の方法	評価対象は、課題および最終試験（100点満点）です。なお、課題では正解がない問題を出題しますので、テキストの書き写しではなく自分の考えを述べてください。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。					
事後学習	・興味を持った分野について文献を読んで、さらに理解を深めてください。 ・医療現場で体験した出来事が、どの概念や理論で説明できるかについて考察しましょう。 ・各自の興味や関心に応じて他の科目を履修し、発展的に学習してください。					
事後学習の参考文献	『死ぬ瞬間 死とその過程について』E・キューブラー・ロス, 中公文庫, 2020年 『医療系のための心理学』樫村 正美 他 (編), 講談社, 2020年 『ストレスマネジメントの理論と実践』水上勝義・辻 大士, 医学と看護社, 2023年					
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。						